



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年7月31日

上場会社名 株式会社 ジェイテック 上場取引所 東 名
コード番号 2479 URL <https://www.j-tec-cor.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤本 彰
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画室長 (氏名) 谷口 恵大 TEL 03-6228-6463
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第1四半期	811	△1.0	22	△40.8	△2	—	△6	—
2025年3月期第1四半期	819	0.9	38	21.5	38	22.6	19	10.2

（注）包括利益 2026年3月期第1四半期 △6百万円（－％） 2025年3月期第1四半期 20百万円（7.1％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	△0.80	—
2025年3月期第1四半期	2.45	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2026年3月期第1四半期	2,173	1,332	61.3	166.44
2025年3月期	2,217	1,418	64.0	177.22

（参考）自己資本 2026年3月期第1四半期 1,332百万円 2025年3月期 1,418百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2026年3月期	—				
2026年3月期（予想）		—	—	—	—

（注1）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

（注2）当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では2026年3月期の当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	4,000	17.9	400	21.5	400	21.2	240	5.2	29.97

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	8,572,400株	2025年3月期	8,572,400株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	565,700株	2025年3月期	565,700株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	8,006,700株	2025年3月期1Q	7,985,700株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	4
四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済環境は、個人消費の持ち直しやインバウンド需要の拡大、企業の堅調な設備投資等により、緩やかな回復の兆しの一部では見受けられましたが、米国の関税政策の影響や、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化・中東情勢の緊迫化等で地政学的リスクが高まり国際情勢は不安定、また、円安による原材料価格・エネルギー価格の上昇や長引くインフレ等、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループの主力事業である高質な技術者（高度な技術だけでなく人間性の面を兼ね備えた「テクノロジスト」）の派遣においては、前連結会計年度に引き続き需要旺盛で、営業体制や教育体制の強化、高付加価値業務への配属等のローテーションを推進したことから、稼働率は前年同水準を維持し、契約単価も前年同期を上回りましたが、技術系人材の獲得競争は依然熾烈を極め、計画通りのテクノロジスト確保が厳しく、特に子会社において人材不足により顧客ニーズに対応しきれず、また、請負においては、継続的な受託案件が一時的に減少したことからトップラインが伸び悩む結果となり、連結売上高は前年同期比で減収となりました。

費用面については、派遣単価の上昇等はあるも原価率は相対的に増加となり、販売費及び一般管理費において、全社的な業務効率化やコスト削減努力により抑制し、前年同期を下回る水準まで圧縮しましたが、売上総利益の目減りを埋めるには至らず、連結営業利益は前年同期比で減益となりました。

なお、当社グループは本年5月14日に東京証券取引所における上場市場区分をグロース市場からスタンダード市場に変更いたしました。これに伴い発生したコストを、本業以外から一時的に生じた費用として、営業外費用「市場変更関連費用」に計上しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高811,448千円（前年同期比1.0%減）、営業利益22,997千円（前年同期比40.8%減）、経常損失2,012千円（前年同期は経常利益38,879千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失6,434千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益19,589千円）の減収減益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 技術職知財リース事業

当第1四半期連結累計期間は、主に当社グループの派遣契約単価は好調に伸びました。しかしながら受託案件の減少により、売上高は811,448千円（前年同期比1.0%減）、セグメント利益は148,694千円（前年同期比2.3%増）となりました。

② 一般派遣及びエンジニア派遣事業

前期より全業務を休止しております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は2,173,475千円となり、前連結会計年度末より44,406千円の減少となりました。これは主に売掛金の減少72,119千円、繰延税金資産の増加24,517千円によるものであります。負債合計は840,879千円となり、前連結会計年度末より41,953千円の増加となりました。これは主に未払費用の増加186,144千円、賞与引当金の減少77,855千円、未払法人税等の減少51,333千円によるものであります。純資産合計は1,332,595千円となり、前連結会計年度末より86,360千円の減少となりました。これは主に利益剰余金の減少86,501千円によるものであります。この結果、自己資本比率は61.3%と前連結会計年度末の64.0%に比べ2.7ポイント下落いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年5月14日の「2025年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,500,073	1,512,739
売掛金	476,122	404,003
契約資産	35,371	24,348
前払費用	54,480	53,698
その他	5,294	6,342
流動資産合計	2,071,342	2,001,134
固定資産		
有形固定資産	34,155	33,166
無形固定資産	970	913
投資その他の資産		
投資有価証券	5,031	8,017
敷金及び保証金	31,954	31,298
繰延税金資産	74,427	98,944
投資その他の資産合計	111,413	138,261
固定資産合計	146,539	172,341
資産合計	2,217,882	2,173,475
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	62,962	50,848
未払金	93,893	77,989
未払費用	49,371	235,515
未払法人税等	83,366	32,032
未払消費税等	61,451	67,122
預り金	16,301	25,819
賞与引当金	167,691	89,835
その他	98	97
流動負債合計	535,136	579,261
固定負債		
長期借入金	19,895	14,480
退職給付に係る負債	243,895	247,138
固定負債合計	263,790	261,618
負債合計	798,926	840,879
純資産の部		
株主資本		
資本金	261,834	261,834
資本剰余金	255,905	255,905
利益剰余金	970,128	883,627
自己株式	△86,189	△86,189
株主資本合計	1,401,679	1,315,178
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,058	3,513
退職給付に係る調整累計額	14,218	13,903
その他の包括利益累計額合計	17,276	17,417
純資産合計	1,418,955	1,332,595
負債純資産合計	2,217,882	2,173,475

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	819,281	811,448
売上原価	539,912	564,703
売上総利益	279,368	246,744
販売費及び一般管理費	240,545	223,747
営業利益	38,822	22,997
営業外収益		
受取配当金	76	85
投資有価証券売却益	172	—
営業外収益合計	249	85
営業外費用		
支払利息	193	95
市場変更関連費用	—	25,000
営業外費用合計	193	25,095
経常利益又は経常損失（△）	38,879	△2,012
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	38,879	△2,012
法人税、住民税及び事業税	50,993	29,205
法人税等調整額	△31,703	△24,784
法人税等合計	19,290	4,421
四半期純利益又は四半期純損失（△）	19,589	△6,434
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	19,589	△6,434

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	19,589	△6,434
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△244	455
退職給付に係る調整額	1,304	△314
その他の包括利益合計	1,060	140
四半期包括利益	20,649	△6,293
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	20,649	△6,293
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	1,738千円	1,046千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 1
	技術職知財 リース事業	一般派遣及び エンジニア 派遣事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	819,281	—	819,281	—	819,281
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	819,281	—	819,281	—	819,281
セグメント利益	145,414	—	145,414	△106,591	38,822

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益の調整額（△106,591千円）の主なものは、親会社本社の管理部門に係る費用であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 1
	技術職知財 リース事業	一般派遣及び エンジニア 派遣事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	811,448	—	811,448	—	811,448
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	811,448	—	811,448	—	811,448
セグメント利益	148,694	—	148,694	△125,697	22,997

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益の調整額（△125,697千円）の主なものは、親会社本社の管理部門に係る費用であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。